

牧野植物園がカルスト学習館にやって来た!

タンポポ展

牧野植物園 巡回展

Makino Botanical Garden Presents
Exhibition of Taraxacum

タンポポの生態やつくりや
「タンポポ調査・西日本2020」
について紹介します!

4月6日(土)~6月16日(日) (月火休館) **観覧料無料**

場所:天狗高原カルスト学習館レクチャールーム

【お問い合わせ】カルスト学習館 0889-62-3371

【タンポポ調査に関するお問い合わせ先】高知県立牧野植物園 088-882-2673(土日祝除く)

皆さんはタンポポというと、どんな花を想像しますか？黄色い花？それとも白い花でしょうか？ひと口にタンポポといっても、その種類はさまざま。高知県には、じつに12種類のタンポポが生育していることがわかっています。このことは、牧野植物園がボランティアの皆さんとともにやってきた「タンポポ調査・西日本」によって明らかになりました。「タンポポ調査」は、身近な自然環境を「タンポポ」を指標（ものさし）として調べる、市民参加型の調査活動です。タンポポにはもともと日本に生えていた在来タンポポと外国からやってきた外来タンポポがあり、在来タンポポは自然が残る場所に、外来タンポポは都市化や開発された場所に多く生えています。それらの分布の割合を調べるとそれぞれの生育する環境の違いから、地域の自然度を測ることができるのです。



ツクシタンポポ



四国カルストでのタンポポ調査

前回2015年の「タンポポ調査」には、282名の方々が参加し、合計7665サンプルを集めることができました。この調査で明らかになったいろいろな情報を、たくさんの人に知ってもらおうと、わかりやすくまとめたのが、2016年に牧野植物園で開催した「すみれ・たんぽぽ展」です。今回の「タンポポ展」ではその中から、意外と知られていないタンポポの秘密や、津野町に生育する希少なタンポポの一つツクシタンポポほか、高知県に自生する12種類のタンポポ、タンポポ調査の紹介など、

選りすぐりの情報をダイジェストで紹介します。皆さんもぜひ展示を見て、タンポポ調査に参加してみませんか？

（高知県立牧野植物園 岡林里佳）